### 「ずっと家にいたくなる家」をテーマにお客様のイメージを形に

# 有限会社 ファインライフ

〒810-0011 福岡県福岡市中央区高砂1-20-25-503 TEL 092-776-4629 HP https://www.finelife7.com/

種 総合建設業 3名 従業員数 資 本 金 4,000万円

内容

#### お客様の思いに寄り添った木造注文住宅の設計・施工

2006年創業。北部九州と山口を中心に、お客様にしっかり向き合いイメージを形にするこ とをモットーに、自由度の高い木造注文住宅の設計と丁寧な施工を行っている。次世代の換 気システム「sumika」(澄家)を導入。床にそれぞれ設置された換気口から室内に給気、屋外 に排気するスタイルで、人にも環境にも優しいシステムとして注目されている。



#### ◎ 改善成果のポイント

#### 訪問支援回数 | 8回(支援中)

- ●法規計算ソフトの導入で住宅設計評価プロセスを効率化
- ●リモート管理ツールの導入で、現場とリアルに情報共有





# ✓ どんな困りごと(課題)がありましたか?

「大手設計会社のような規格型設計にしばられない家づくりをしたい」という思い から、当社では、営業・受注・設計・現場管理、お客様対応全てを社長ひとりで行い、 その思いに共感する設計士や大工、左官、電気工事士、管工事士などとチームを作 り、お客様に寄り添った家づくりに取組んでいます。

創業から15年、口コミやメディアを通じてお客様が増え続け、もはや、私ひとりで 全てに対応することが難しくなってきました。

創業の思いを大切にし、私が全ての案件にできるだけ目を届かせながらも、安易に 人を増やさず、受注の拡大に応えていくにはどうすべきか悩んでいました。

課題 4 5





社長が頻繁に現場を訪れて、打ち合わせや施 工のチェックをしていた

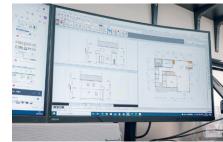


# ✔ 改善の取組み内容を教えてください

まず、現在抱えている問題点を工程ごとに全て書き出し、整理し、取組み課題を2 つ選びました。

設計工程においては、法規に関する計算(法規LVS、木造壁量計算、シックハウス 換気計算、外皮性能計算など)を外注していますが、やり取りに時間がかかることか ら外注コストが高くなっていることが分かりました。そのため、設計をしながら自動的 に法規計算ができるソフトを導入して、設計工程を効率化することにしました。

施工管理においては、1棟で3~4か月の施工期間中、およそ2日に1回のペース で県内外の各現場を直接訪ね、施工のチェック、困りごと相談、進捗管理を行ってい ますが、日々車で移動するだけでも多くの時間を費やしていることが自覚できまし た。そこでリモートで現場の状況を把握でき、双方向のコミュニケーションや情報共 有ができるツールを導入し、施工管理の効率化に取組むことにしました。





カメラに映る現場の様子をどこにいても確認できる

# 取組んで良くなった点を教えてください



(改善点)

設計工程では法規計算ソフトの導入により、外注との打ち合わせ時間 がなくなり、外注費用を削減することができました。法規計算は、現在使っ ている設計ソフトのオプション機能で、設計と同時に裏でチェックしてく れるため、自社の工数が増えることもありませんでした。

施工管理では現場にカメラを設置したことで、どこにいてもパソコンや タブレットで作業進捗をリアルタイムに確認できて、通話機能で作業の指 示などもできるようになりました。また、現場作業者も、カメラに併設した モニターで工事計画や部材の発注・納期などの情報を見られるようにな りました。そのため現場に行くのは1~2週間に1回のペースで済むよう になり、時間と移動経費を大幅に削減できました。



オフィスで落ち着いて作業ができるようになった



現場のカメラを通してコミュニケーションを取れるので、現場作業者も 大変助かっていると言ってもらえるようになりました。

偶然現場を通りかかって家に興味を持たれた人とリモートでやり取り をし、商談につながったこともあります。



テレビCMやラジオ出演などメディアを積極的 に活用



リモート管理を他の現場にも水平展開して、受注件数やエリアを拡大 していきたいです。

お客様に向き合いイメージを形にするという思いを大切に、今回得ら れた余力を生かし、より多くのお客様に応えていきます。

## 企業様の声

当社のような小さな会社でも福岡県に支援してもらうことができて、 ありがたく思っています。アドバイザーの福留さんが親身になって 何でも話を聞いてくれて、設計工程と施工管理の2つに的を 絞って改善策を検討し実行したことで、確実かつ大幅に生産 性が向上しました。今回の経験を生かして、これからも自社

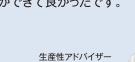
で生産性向上の取組みを展開していきま

有限会社 ファインライフ 代表取締役社長 長野 喜裕 様

## 生産性アドバイザーから一言

ファインライフの長野様はひとり で全ての案件を担っており、受注を 拡大するためには現状の業務にメリハ リをつけ、効率化する必要がありました。 現場にカメラを設置して、リモートで情報共

有するという方法を初めて 導入したところ、うまく運用す ることができて良かったです。



福留 和浩

